

●市民プール設置の考え方

蒲郡市では市民プールが老朽化破損で利用できなくなつてから10年が過ぎました。この間、市民の皆様から少なからず建設要望が続いています。



更地になった旧蒲郡市民プール跡地

鈴木市長は新市民プール建設について検討しているようですが、乗り越えなく

てはならない懸案事項が数点あります。

「一般論」

大きな点だけ列举しますと、建設費が30億円以上かかるのに夏場しか利用できないこと、利用者が実績から積算すると年間延1万2千人しかいないこと、年間維持費が高額になり利用料金が4、5千円と高額になることなどです。

前市長が市民の負担増を懸念し、新設に踏み切れず、ラグーナプール利用補助など代替策を選択したことは論理性があつたのです。

「解決策」

市民サービスを充実させるという観点から、市民プール新設は積極的に考慮すべきです。

この解決の一助になるの

ではないかと思われる事例が、市役所内部で共有されつつあります。

それは小・中学校の水泳指導を民間委託するというものです。

前年度は蒲郡中学校生徒が民間スポーツクラブの温水プールで、民間指導員による指導を受けました。送迎はスポーツクラブのマイクロスバスで、指導環境に余裕ができ、生徒を含めとても好評でした。

加えて、今年度は塩津小学校で実施されます。これが成功すれば全小・中学校で同様の指導が行われると思われれます。

ところで、この施策を進めるには一点の問題があります。それは蒲郡市内には温水プールを備え、指導員

の配置された民間スポーツクラブが二か所しかないことです。

この解決策が新市民プール設置につながります。

設置費用が多額であることには変わりありませんが、温水プールとして通年利用とします。もちろん小・中学生の水泳指導は民間指導員に任せるため、公設民営とします。年間で6,000人×指導時間数となるため現存するスポーツクラブを含め三か所に振り分けれます。

この利用料金は市が負担するため、新市民プールの一般利用料金は低額に抑えられるでしょう。ただし、小・中学生の指導時には一般利用はできません。

以上は概略ですが、いかがでしょうか。

●代表質問

私は蒲郡市政クラブの会長として、令和3年3月議会で代表質問をしました。以下、概要をお伝えします。

1 予算大綱について

(1) 港湾計画改訂の状況
問 市の要望はどのようなか
答 貯木場の埋め立て、航路の拡幅などです。

問 11号岸壁の埋め立て状況はいかがか。
答 30mの延伸工事中で、完成すれば380mの2バスとなり。また令和3年度中に3.6haの埋め立てが完了します。残りは1バスと緑地帯、岸壁内の埋め立てです。

(2) 道路建設について

問 国道23号バイパスの建設状況と名浜道路建設の可能性についてうかがう。
答 国道23号バイパスの令和2年度予算は86億4千万円でした。名浜道路は引き続き隣接自治体と推進協議会を作り、国へ要望を行っています。

国道23号バイパスのようす



問 県事業の内容と進捗状況をうかがう。

答 三谷町小迫交差点から二舗交差点までの工事、用地買収1件、工事区間150mが残っています。
問 県への要望案件はどのようなか。
答 大塚金野線、海陽3号線、247号鹿島バイパスと中央バイパス4車線化、473号のバイパス化、竹谷柏原線の事業化です。

問 国道473号バイパスと竹谷柏原線事業化の可能性はあるか。
答 引き続き県に要望してまいります。

問 県道三ヶ根停車場拾石線拡幅はいかがか。
答 愛知県から沿道住民の同意を踏まえた要望が必要と聞いております。

問 蒲郡環状線など新設道路はどのようなか。
答 蒲郡環状線の第6工区の用地買収率は75%で第7工区は93%です。(仮)上向山広畑1号線は概略設計を行います。

問 宮ノ要浜田1号線はどのようなか。
答 詳細設計を行い、地元説明を考えています。

(3) 小中学校、公民館、保育園グランドデザインの現実対応について
問 新年度の予定は。
答 蒲郡北地区のワークショップを再開します。

問 塩津と西浦のワークショップ結果の取り扱いは
答 早期に基本計画を決定し、公表します。地区要望もあり、早期整備に努めます。塩津地区の手順は先ず体育館と公民館を合築し次に校舎、保育園を建設しま

す。西浦地区では校舎を建設した後、体育館と公民館を合築します。

(4) 立地適正化計画の運用について

問 居住誘導、施設誘導の具体策をうかがう。

答 その区域内には優良建築物等整備事業という施策があり、蒲郡駅北地区で民間事業者によるマンションと商業の複合ビル建築構想に補助をしております。

問 区域内で組合施行の区画整理案件が持ち上がった場合の対応はいかがか。

答 市が一部直接施工するなど、事業実現に向けて支援を行います。

(5) 東港地区開発について

問 港湾計画改訂との関連はどのようか。

答 東港地区まちづくり委

員に国、県からも入ってもらい、港湾計画改訂に反映していきます。



竹島パーク・水族館のようす

問 竹島パーク、水族館エリアはどのようか。

答 価値の高さを生かし、民間との対話により事業推進してまいります。

(6) ラグーナテンボスについて

問 前期の決算状況、今期

の収支予測及び事業内容、市の方針をうかがう。

答 前期の営業損益は11億5900万円の赤字となっております。財務体質改善のため、タラソ事業を令和2年12月に株式会社リゾート・トラストへ売却しております。今期は280万人の来場者数を見込み、アニメ「鬼滅の刃」とのコラボレーションイベントを実施してまいります。今期の収益予測といたしまして、営業利益は3,200万円を見込んでおります。また、ラグーナ蒲郡運営事業交付金については、観光振興および雇用の促進を図る目的で継続してまいります。